



運 営 協 議 会 だ よ り

第5号

代表 近藤 弘文 校長 加藤 雄一

第5回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 令和3年10月5日 17:00～18:15

■場 所 落合第六小学校 図書室

■司 会 副校長

【代表挨拶】

10月より、西落合図書館の館長に就任されました大森正義さんが、メンバーに加わりました。

【校長挨拶】

子どもたちは元気に登校しています。緊急事態宣言が解除されましたが、学校生活では感染対策を続けています。9月に入り、出前授業など延期になっていた活動も動き出しました。5年生のバーチャル女神湖(9月)や6年生のプロジェクト6(10月)として、中止となってしまった移動教室に変わる活動を計画しました。現地の食べ物を取り寄せて試食する、木材を使ってコースターを制作するなど、趣向を凝らした内容が予定されています。11月6日には、学習発表会として、例年の学芸会にかわる発表会を計画しています。

校舎の改修工事が続いています。外壁工事のため、窓開けが難しい箇所もあり、空気清浄機を20台程、配置しています。2学期中には校舎内の工事は完了する予定です。

【地域協働学校の取組について】

8月末、課外授業について先生方に実施したアンケート結果をもとに、今後どのように継続していくか、意見交換できればと思います。

【意見交換】

- ・学校として、先生方のニーズは把握できた。今後、どのように継続していくかが鍵となる。
- ・求められたものをどう提供できるのか、地域でどのような人材がいるのか、把握が難しい。
- ・地域への発信方法(マッチング)が必要。子どもたちに実施するものなので、誰でも良いとは、限らない。
- ・今まで、どのような活動を提供していたのか、情報集めが必要である。
- ・先生方も異動があるので、情報が残っていないものもある。どのように頼めば良いかわからないものもある。
- ・地域でボランティア登録されている方に、お願いすることもできる。
- ・今までは、スクール・コーディネーターがお手伝いをお探しすることがあったが、コロナにより難しくなった。
- ・地域の方の情報をこの協議会で共有し、先生が望む講師を探すことができるのではないか。
- ・「おちあい」を作成している地域センターの運営協議会には、地元詳しい方がいる。
- ・国際交流が難しくなっているが、保護者や地域の外国籍の方に、依頼してみてもどうか。
- ・以前は、風呂敷や公園美化などを題材に、道徳授業で地域の方に講師をしてもらうことがあった。
- ・図書館でできることとして、ビブリオバトルや辞典の使い方などのお手伝いを毎年している。
- ・世の中、たくさんの情報が溢れているが、本からの情報が大切なことを子どもたちには理解してほしい。
- ・自分の足で歩き、自分の目を見て、自分で集めた情報は大切である。

【次回の予定】 令和3年11月9日(火) 17:00～

【出席者】

近藤 弘文、西澤 輝信、橋田 稔、原田 榮、亀井 治子、篠田 邦子、舘 次郎、
大森 正義(西落合図書館館長)、森 修二(教育支援課)、
加藤 雄一、村上 珠子、水上 真理(書記兼務)、